

7 / 15 時間目の学習で
どんなおくりものか
考えさせる

《工夫》読み手に考えさせるため、「問い」と「答え」という述べた方をしている。



めあて
別のおくりものについて読み取り、
筆者の述べた方の工夫をさぐる

学習課題
SOS!地球の緑を守れ!
筆者の工夫を取り入れながら、
調べたことを意見文にまとめよう

森林のおくりもの
富山和子

6 / 15 時間目 指導略案 ワークシート
活動のねらい

別のおくりものについて読み取り、筆者の述べた方の工夫を読み取ることができるようにする

1 本時のめあてを確認する。

2 形式段落（26～36）を読み、別のおくりものについてまとめる。

本時のめあてを意識しながら、本文を読む。

3 つのおくりものについて「問い」の文章を見付け、付せんに書き出し、書いてある順にワークシートにはり出す。

（発問）「紙」や「火」の段落で「問い」の文に着目しましたが、そのような「問い」の文を文末に注意しながら見付け、付せんに書きましょう。

（発問）また、「問い」の答え（森林の働き）を見付けて、ワークシートに書き出しましょう。

考えをペアで対話する。

全体で「問い」と「答え」を確認しながら、ワークシートに整理する。

3 筆者の述べた方の工夫について確認する。

（発問）別のおくりものこのことを読み手に伝えるために、筆者はどんな述べた方の工夫をしているのでしょうか。

・ 「問い」「答え」という表現を取り入れ、読み手に考えさせていることを押さえる。

【評価】叙述を基に事例を整理したり、友達と考えを交流しながら筆者の主張や表現の工夫について読み取っている

4 学習を振り返り、めあてについて自己評価する。